

人類の間に 光となって来られた キリスト

(クリスマスイブ礼拝)

マタイ 4章 16 節
ヨハネ 8章 12 節
2020年12月24日
松田 基子 師

皆様イブ礼拝によろこお越し下さいました。
今年はコロナ禍の中にあるために、街の中もクリスマスだからと言って、賑やかさはなく、静かなクリスマスが広がっています。

新型コロナウイルス感染が1日も早く終息することを祈っています。

ところで、世界中の殆どの人が、クリスマスは、何の日かと言え、イエス・キリストの誕生をお祝いする日だと知っています。でも多くの人々は、イエス・キリストが神の御子であられるのに、何のために、この世に生まれて来られたかを知りません。

聖書は、私たち人間は、人間の親から生まれますが、その命は神様が与えて下さったことを教えています。命の与え主である神様は、人間をとて愛されました。

そこで、神様は人間に

『わたしが正しい愛の道を教えるので、わたしに聞いて、わたしに従って歩みなさい。そうすれば、あなた方は正しい道を歩んで、天国に帰って来ることができる。しかし、わたしから離れて、自分勝手に生きたなら、永遠の滅びに至る。』

と、様々なことを通して教えられました。

しかし、人間は皆、

『自分が一番、自分のしたいようにする。』

その心で、神様から離れてしまいました。神様から離れたなら、永遠の滅びが待ち受けています。しかし、当の人間は、そんな事が分か

らないで、好き勝手に生きていました。

人間の心は、自己中心で、悪くなるばかりです。強い者は弱い者から奪い取って、自分の利を増やすことに必至でした。弱い者は弱い者で、自分たちを踏みにじる、強い者を憎み、呪いました。人間の心は、憎み合い、争い合いで汚れて行くばかりです。人間は誰一人として罪の無い者はいません。永遠の滅びに、向かっていました。

その事を一番悲しまれたのは、命の与え主である神様です。神様は、

『何としてでも、人類を永遠の滅びから救いたい。』

とお考えになりました。しかし、限りなく清く、正しい神様の許へは、罪に汚れた人間は、太陽に近づけば死んでしまうように、神様に近づくことは出来ません。そこで神様は、同じ思いで人類を愛しておられる、神の御子を人の世に誕生させて、全人類の罪を引き受けさせ、身代わりの罰を受けさせて、人類の価値に勝る神の子の値をもって人類の罪を贖わせることで、罪を解決することをお決めになりました。人間は誰も、キリストの愛を知って、罪を悔い改め、イエス・キリストを信じる事によって、天国に迎えらるることを、神様がお決めになりました。イエス様は **そのために**、この世に生まれて来て下さったのです。

イエス・キリストは、この世に生まれ、人の生くる悩み、苦しみを味わい、遂には、全人類の全ての罪を負って、身代りの十字架にかかって下さいました。神様は、イエス様による人類の罪の贖いを受け入れ、イエス・キリストを信じる人々を、天国に迎える証明に、イエス様を十字架の死から、3日目に復活させられました。

ここに、永遠の滅びという、暗黒と混沌に向かっていた人類の歴史に、天国への光が差し、

命の道が開かれました。イエス様はヨハネによる福音書8章12節で、

「わたしは世の光である。わたしに従う者は
暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」

と約束されました。その御言葉は真実で、イエス・キリストを信じた多くの人達が、天国への希望に生かされて、困難も乗り越え、人生を雄々しく生き抜いて行きました。

今年は、コロナ禍のために、人々の心は重く暗くなりました。誰も感染したくはありませんし、感染を食い止めなければなりません。それは命に関わることだからです。神様は、私たちのこの肉体の命も、心配して下さっていますが、それ以上に、死を越えて、天国へ辿り着く永遠の命について心配して下さっています。

イエス・キリストがこの世に生まれて下さったのは、その**永遠の命**を一人でも**多くの人**が**受け取ってくれる**ためでした。永遠の命の道に光となって、天国まで導いて下さるのは、イエス・キリストだけです。

皆さんの心に今晚、

『キリストの**真の光**が**灯ります**ように』

と、お祈り致します。

お祈りを致します。

私たちの命の与え主である天の父なる神様
今年はコロナ禍で心重く、また自分の心を見ると、罪に汚れ、暗い心を抱えています。

どうぞ、イエス様が私たちの心にお入り下さって、心を清め、キリストの光を照らして下さい、永遠の命の道にお導き下さい。

集われた、お一人おひとりの上に、豊かな祝福をお注ぎ下さい。

救い主イエス・キリストの聖名によって
お祈り致します。

アーメン。